

取り付けと接続

NVX-DV700

Sony Corporation ©2000 Printed in Japan



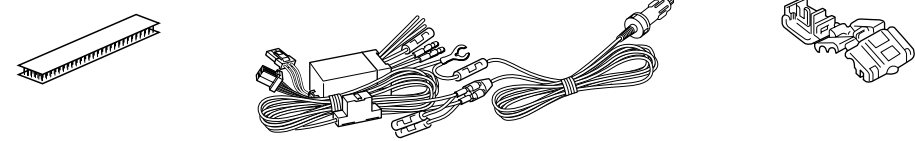
本機の接続コードの色は、EIAJコードカラーに準拠しています。

付属部品の確認

この「取り付けと接続」に記載されている取り付け先または接続先の機器は、すべて別売り品です。ただし付属品は除きます。

ナビ本体

- ① マジックテープ (50cm)*
- ② 電源コード
- ③ 圧着式コネクタ×3



*マジックテープは、①と②、⑦の作業で必要な分だけ切って使用します。後の作業で足りなくならないように上手に配分してください。

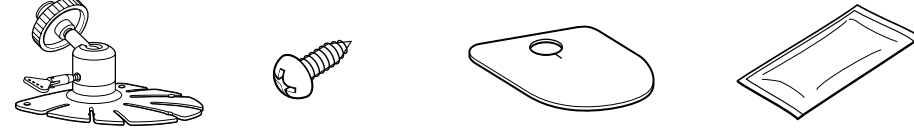
コネクションボックス

- ④ コネクションボックス接続コード
- ⑤ アースコード

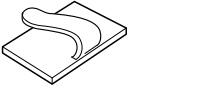


モニター

- ⑥ スタンド
- ⑦ 固定用ネジ×3
- ⑧ スタンドカバー
- ⑨ クリーニングクロス



- ⑩ コードクランパー×10 (GPSアンテナ用を含む)



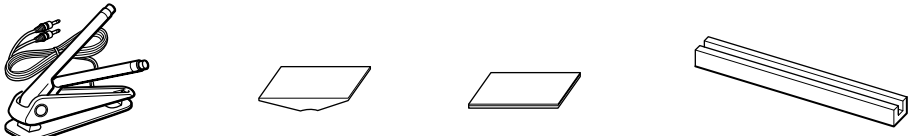
GPSアンテナ

- ⑪ GPSアンテナ
- ⑫ クッション



TVアンテナ

- ⑬ TVアンテナ (左1, 右1)
- ⑭ 防水ゴム×2
- ⑮ 両面テープ×2
- ⑯ コードガイドレール×2

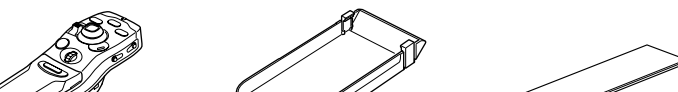


- ⑰ クリーナー液
- ⑱ 不織布
- ⑲ コードクランパー×6



リモコン

- ⑳ ナビシステム用
- ㉑ リモコンホルダー
- ㉒ 両面テープ



ソニーFAXインフォメーションサービスのご案内 (FAX付電話をご利用になれます)

カーフィッティングFAXサービス 車種メーカー、車種・車種形式別のカーオーディオ部の取り外し方法、各種センサー位置等の資料
 ①インデックスの入手 / 03-3552-7209 →車種メーカー別のBOX番号を受信
 ②資料請求 / 03-3552-7488 →アナウンスに従いご希望の車種の該当BOX番号を入力してください。

24時間
お手元のFAXで
資料が取り出せます

・ソニーFAXインフォメーションサービスをご利用の際のインデックス入手料・資料請求は通話料のみお客様のご負担となります。またFAXの機能によっては受信できない場合があります。
 ・FAXサービスのメンテナンス日は 毎月第2木曜日 午前8:00~午後11:00となっております。ご迷惑をおかけしますが、当日前記時間帯は資料を取り出すことはできません。ご了承ください。(第2木曜日が祭日の場合は前日の水曜日メンテナンス日とさせていただきます。)

カーナビゲーション製品の保証期間中の操作や取り付け・接続、故障に関するお問い合わせは
 テクニカルインフォメーションセンターへ
 (カーAV/カーオーディオ専用)
 0120-64-0131(フリーダイヤル)

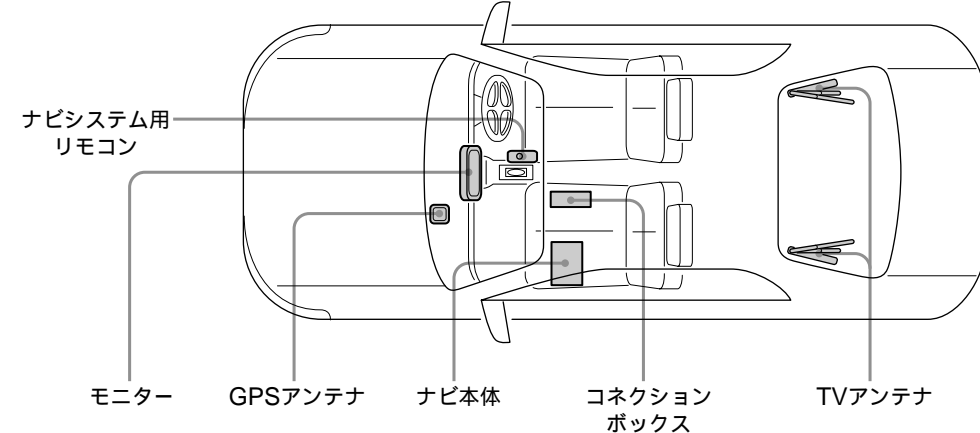
ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35
 お問い合わせはお客室と相談センターへ
 ●お客室へ 0570-00-3311 9:00~17:00
 (全国どこからでも市内通話料無料でご利用いただけます)
 ●お客室へ 03-5448-3311 全日受付 9:00~17:00
 ●Fax 0466-31-2595

この説明書は再生紙を使用しています。



取付場所の確認

下図のように取り付けられるかどうか、ご使用になっている車に合わせて各機器を配置してください。



●●●ご注意

ナビ本体とコネクションボックスは、できるだけ離して設置してください。近づけて設置すると、テレビ画面にノイズが出ることがあります。

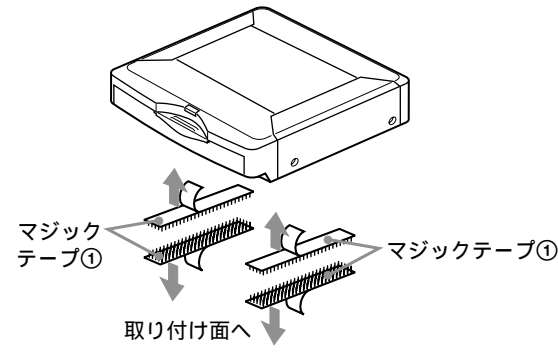
- 1 イグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく
- 2 仮置きして(上図参照)、ケーブルの長さやモニターの位置などを確認する

1 ナビ本体を取り付ける

●●●ご注意

・マジックテープは、後の作業で足りなくならないように上手に配分してください。
 ・横置き位置で水平5°以内、また、地図ディスクの出し入れが容易な所に取り付けてください。
 ・取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。
 ・次のような場所への取り付けは避けてください。
 - 高温になる場所
 - 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ

マジックテープ①を必要な分だけ切り、カーベットなどに取り付ける



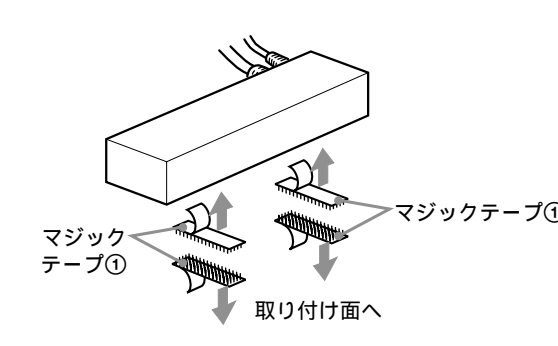
マジックテープは、底面中央の銘板を避けて貼ってください。

2 コネクションボックスを取り付ける

●●●ご注意

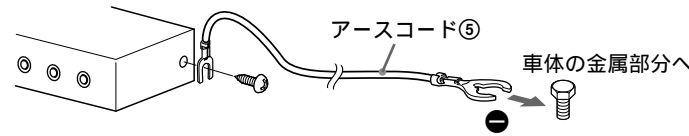
・マジックテープは、後の作業で足りなくならないように上手に配分してください。
 ・ナビ本体とコネクションボックスは、できるだけ離して設置してください。近づけて設置すると、テレビ画面にノイズが出ることがあります。
 ・取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。
 ・マジックテープは中央部の銘板を避けて取り付けてください。
 ・次のような場所への取り付けは避けてください。
 - 高温になる場所
 - 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ

マジックテープ①を必要な分だけ切り、カーベットなどに取り付ける



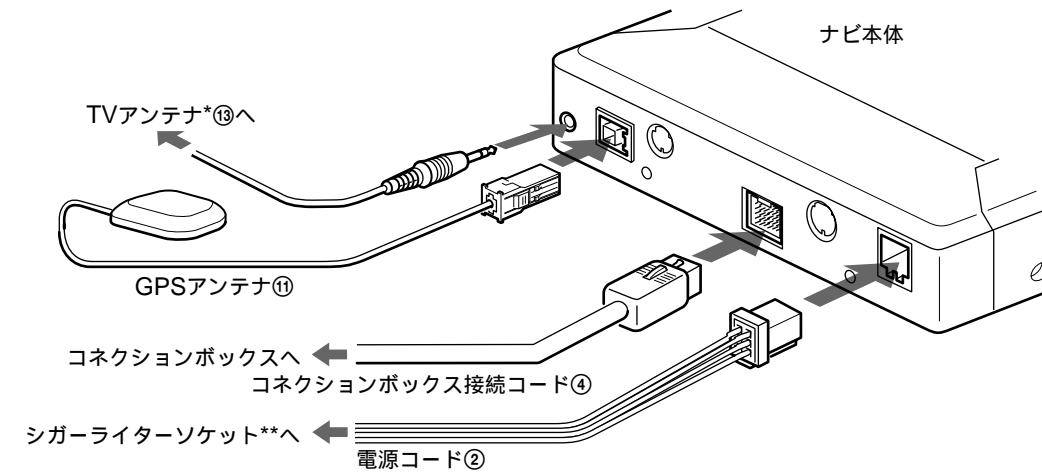
マジックテープは、底面中央の銘板を避けて貼ってください。

オルタネーターノイズが発生するときは
 オルタネーターノイズ(エンジン回転を上げたときのヒューンという音)が発生する場合には、アースコード⑤をコネクションボックス側面のネジで固定し、もう一方を車体の金属部分のビスに接続(アース)してください。



3 ナビ本体と接続する

下記以外の接続については、裏面の「接続図」に従ってください。



●●●ご注意

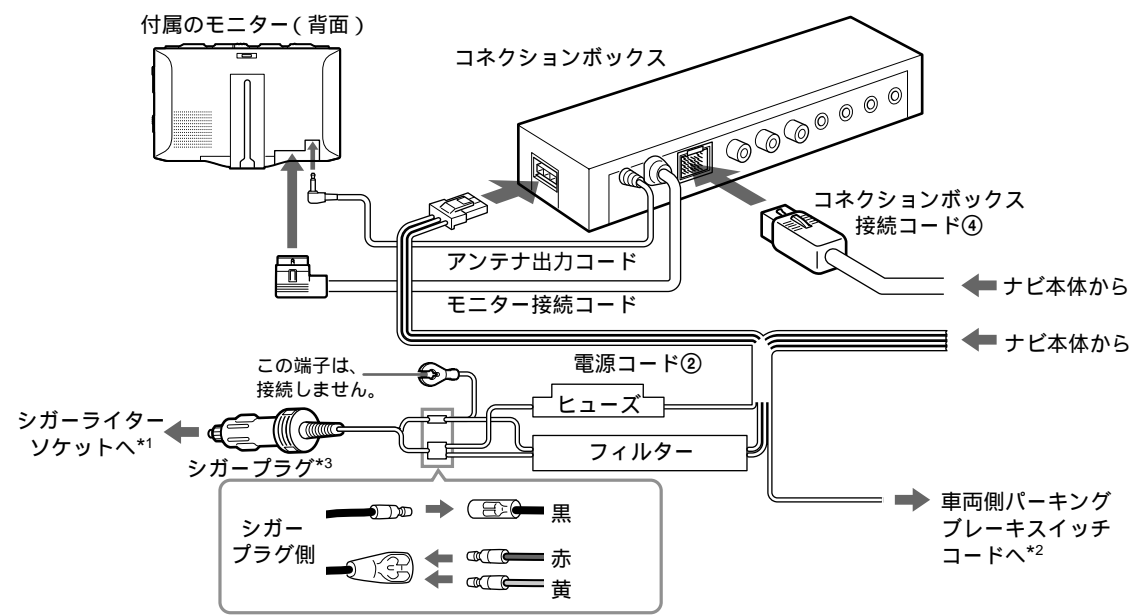
* TVアンテナの4系統のアンテナ入力うちの1本を使用してください。詳しくは、右欄の「⑥ TVアンテナを取り付ける」をご覧ください。
 また、アンテナ分配器XA-48FM(別売り)またはFMアンテナVCA-14(別売り)なども接続できます。
 ** 作業中の事故防止のため、シガーライターソケットへは最後に接続してください。

●●●ご注意

別売りの簡易車速/リルス発生器XA-200Sをお使いになると、ナビゲーションシステムの自車位置の精度が向上します。XA-200Sでは、カーコンピュータ・の車速/パルスと接続する必要があります。

4 コネクションボックスと接続する

本機は、電源にシガーライターソケットを使うことで、電源への接続を簡単にしています。下記以外の接続については、裏面の「接続図」に従ってください。



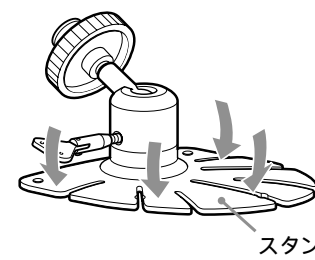
●●●ご注意

* 作業中の事故防止のため、シガーライターソケットへは最後に接続してください。
 * パーキングブレーキスイッチコードに接続しないと、ナビゲーションシステムが走行中と誤ってしまい、設定や登録などの複雑な操作やテレビビデオ画像の表示ができなくなります。
 詳しくは、裏面の「各コードの接続について」をご覧ください。
 * お買い上げ時は、接続された状態になっています。一部の車種によっては、車両側のシガーライターソケットに本機のシガープラグがうまく差し込めないことがあります。シガープラグを使用しない場合は上記イラストの部品をはずして接続してください。

5 モニターを取り付ける

取り付ける位置については、裏面の「モニターを取り付ける前」をご覧ください。

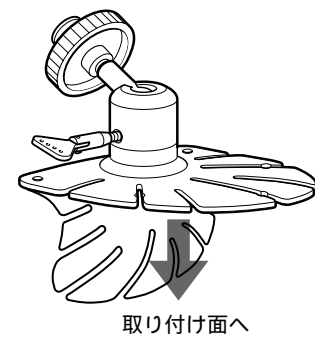
- 1 ダッシュボードの形状に合わせて、スタンド⑥を曲げる



曲げすぎて、スタンドが浮かないようにご注意ください。

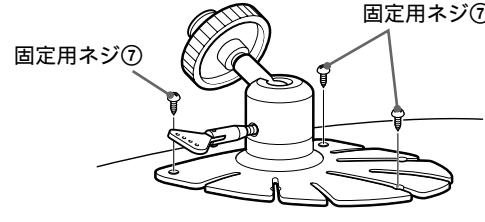
- 2 クリーニングクロス⑨で取り付け面の汚れを落とす

- 3 両面テープのはり紙をはがし、貼り付ける



・取り付け面の表面温度が低い(20°C以下)と両面テープの接着力が弱くなるので、ヘアドライヤーなどで温めてから貼り付けてください。また、24時間以上経ってからモニターの取り付けを行ってください。
 ・取り付けたあとに両面テープをはがすと、接着力が弱くなり危険です。十分に位置を決めてから確実に取り付けてください。
 ・取り外すときは、取り付け面を温めてからゆっくりはがしてください。

- 4 固定用ネジ⑦で固定する

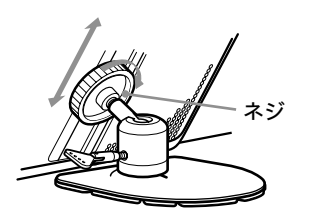


取り付けた状態でネジの先端がダッシュボード内部の配線などに当たっていないことを確認してください。

- 5 スタンドカバー⑧を接着する

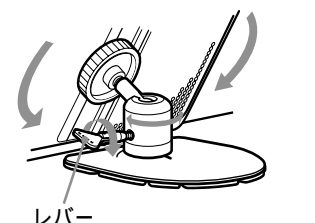


- 6 モニター背面のみぞにスタンドのネジを差し込み、高さを決める



車の振動によるぐらつきを防止するため、モニターの底面がダッシュボードにあたるように高さを調節してください。調節後はネジを締め固定します。

- 7 レバーをゆるめて角度を調節する



調節後はレバーをしっかり締めて固定します。

6 TVアンテナを取り付ける

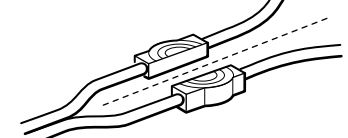
●●●ご注意

クリーナー液⑰と不織布⑱で取り付け面に付着している汚れなどを拭きとってから、取り付けてください。

TVアンテナの使いかたと取り付けかたについては、裏面の「TVアンテナの取り付けについて」をご覧ください。

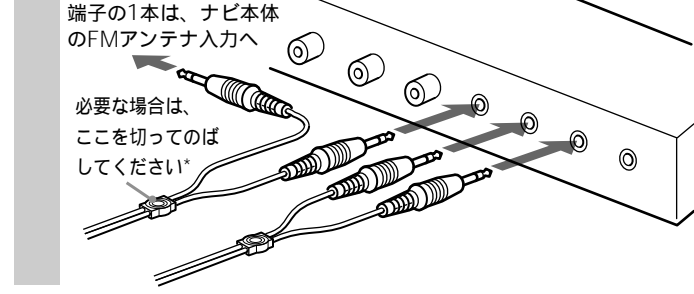
●●●ご注意

* TVアンテナコードを切る場合、下図のように必ずコードに沿って切ってください。

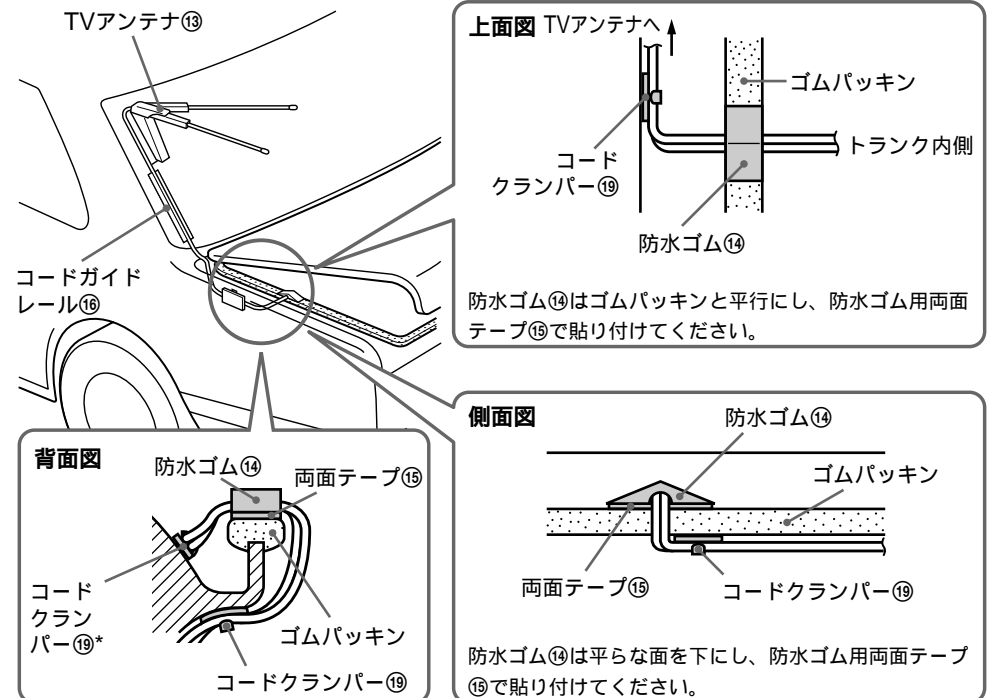


裏面の「TVアンテナの取り付けについて」もあわせてご覧ください。

- 1 TVアンテナ⑬をリヤウインドウに取り付ける
- 2 TVアンテナコードを配線する
- 3 TVアンテナコードを接続する



配線のしかた



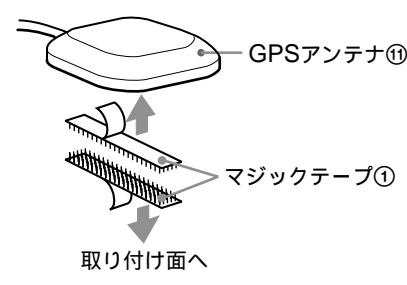
* このコードクランパーは必ず防水ゴムより低い位置に取り付けてください。トランク内への水漏れの原因となります。

7 GPSアンテナを取り付ける

●●●ご注意

一部のウインドウガラスには、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けて受信状態が不安定なときは、1度アンテナを車外に取り付けて受信してみてください。
 ・取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

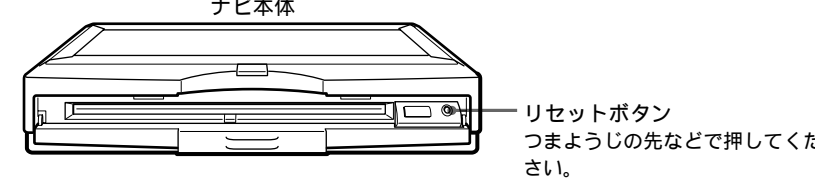
マジックテープ①を必要な分だけ切り、GPSアンテナ⑪を取り付ける



リアトレイや車外に取り付ける場合は裏面の「GPSアンテナの取り付けについて」をご覧ください。

8 車のエンジンをかけて、リセットボタンを押す

必ず車のエンジンをかけてから、リセットボタンを押してください。

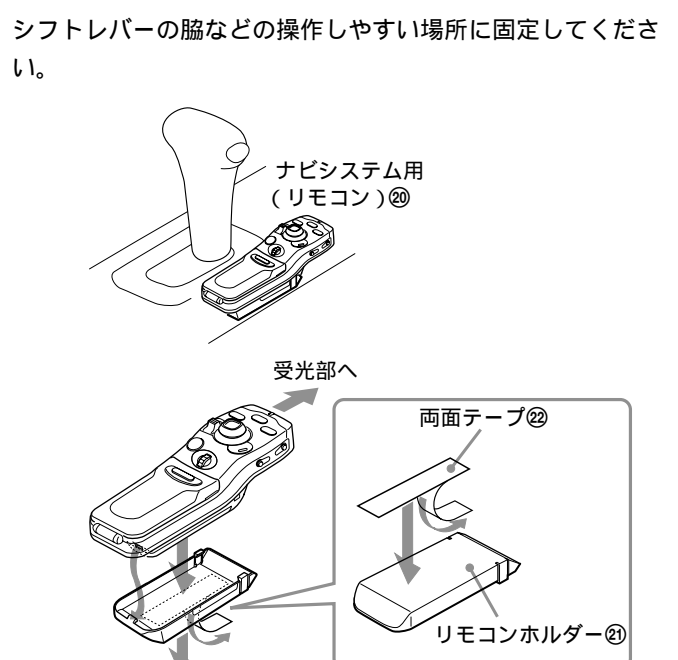


9 リモコンを取り付ける

●●●ご注意

・次のような場所への取り付けは避けてください。
 - シフトレバーやサイドブレーキなどの操作の妨げになる場所
 - 運転席、助手席のシートの前後、上下など可動部の妨げになる場所
 - ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の熱によって変形するおそれのある場所
 ・取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

両面テープ⑲で、リモコンと受光部が向き合うように取り付ける



両面テープを取り付ける前に、リモコン操作が正しくできることを確認してください。

警告 安全のために

警告表示の意味

「取付接続説明書」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。
 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



下記の注意を守らないと**火災・感電により死亡**や大けがの原因となります。

本機はDC12Vマイナースター専用です
 大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。

取り付け、接続作業をするときは、必ずイグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく
 イグニッションキーをONにしたまま作業すると、バッテリーあがりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの危険があります。

前方の視界を妨げる場所に取り付け
 前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。

パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない
 火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。

助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付け
 動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。

ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない
 車のボルトやナットを使用すると、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付け
 運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。

分解や改造をしない
 火災や感電、事故の原因となります。

雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付け
 上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

規定容量のヒューズを使う
 ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

安定した場所に取り付ける
 振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。

本機の通風口や放熱板をふさがない
 フロアカーペットの内側やマットの下などに設置して通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災などの重大事故の原因となります。

TVアンテナは車体からはみ出さないように取り付け
 歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。

アンテナは確実に両面テープで固定
 車体や歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。

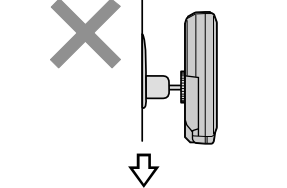
付属の部品で正しく取り付け
 他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

付属の部品で正しく取り付け
 他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

モニターを取り付ける前に

ご注意

- 助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付けください。
- 不安定な取り付けは絶対にお避けください。走行中にはずれることがあり、大変危険です。



取り付け位置のポイント

運転者から見て、ボンネットの先端よりもモニターが上に出ない位置に取り付けます。

・極端に低温または高温になる場所や(キャビネットの変形や液晶パネルの故障の原因になります。)直射日光が当たる場所をさけてください。

取り付け例

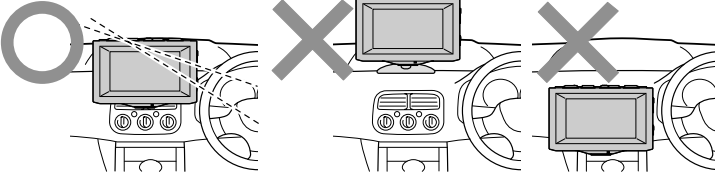
モニターの底面がダッシュボードに接触するように取り付けてください。ダッシュボードが曲面の場合、ダッシュボードが平面の場合、モニター底面をダッシュボードの平面にあてて固定する。



モニターは、安全性を重視して設計されておりますが、正しい位置に確実に取り付けを行わないと、事故の原因となり大変危険です。取り付けの前に、必ず下記事項の確認を行なってください。

取り付け位置

前方視界を妨げることがなく、また運転中極端に視線を動かさずすむように、ダッシュボードのなるべく高い位置に取り付けてください。極端に目線を下げる位置に設置しないでください。



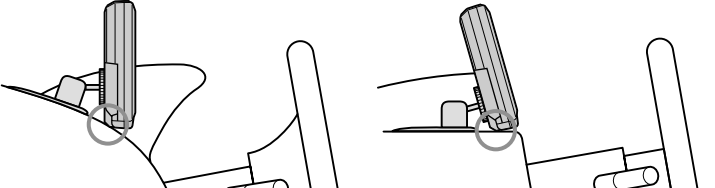
取り付け位置のポイント

運転者から見て、ボンネットの先端よりもモニターが上に出ない位置に取り付けます。



取り付け例

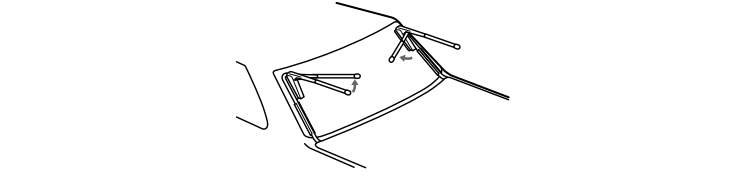
モニターの底面がダッシュボードに接触するように取り付けてください。ダッシュボードが曲面の場合、ダッシュボードが平面の場合、モニター底面をダッシュボードの平面にあてて固定する。



TVアンテナの取り付けについて

取り付ける前に
 ・必ずリアウィンドウに取り付けてください。
 ・車のラジオ用アンテナや、パーソナル無線、アマチュア無線、自動車電波などのアンテナから離してください。近くに設置すると、他のアンテナの影響を受け場合があります。

なるべく平らな部分に貼り付けてください。ガラスの曲面が大きいたがられるおそれがあります。アンテナの左右を確認して取り付けてください。

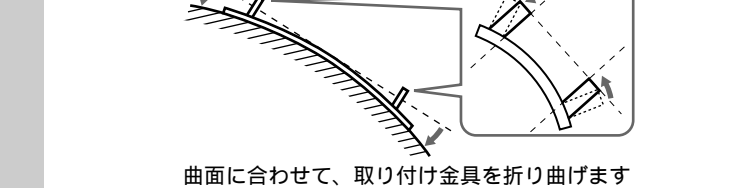


あらかじめ、クリーナー液⑩と不織布⑨で、貼り付け面の油やワックス、ほこりなどを拭きとってください。クリーナー液が乾いたら水で洗い流して乾いた布で乾拭きしたあと、以下の手順で取り付けてください。

あらかじめ、クリーナー液⑩と不織布⑨で、貼り付け面の油やワックス、ほこりなどを拭きとってください。クリーナー液が乾いたら水で洗い流して乾いた布で乾拭きしたあと、以下の手順で取り付けてください。

1 TVアンテナ⑬から取り付け金具をはずし、貼り付け面に合わせて折り曲げる

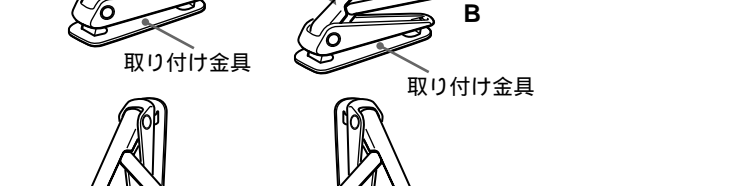
取り付け金具と貼り付け面の間にすき間がないことを確認してください。



2 取り付け金具裏面のはくり紙をはがして貼り付ける

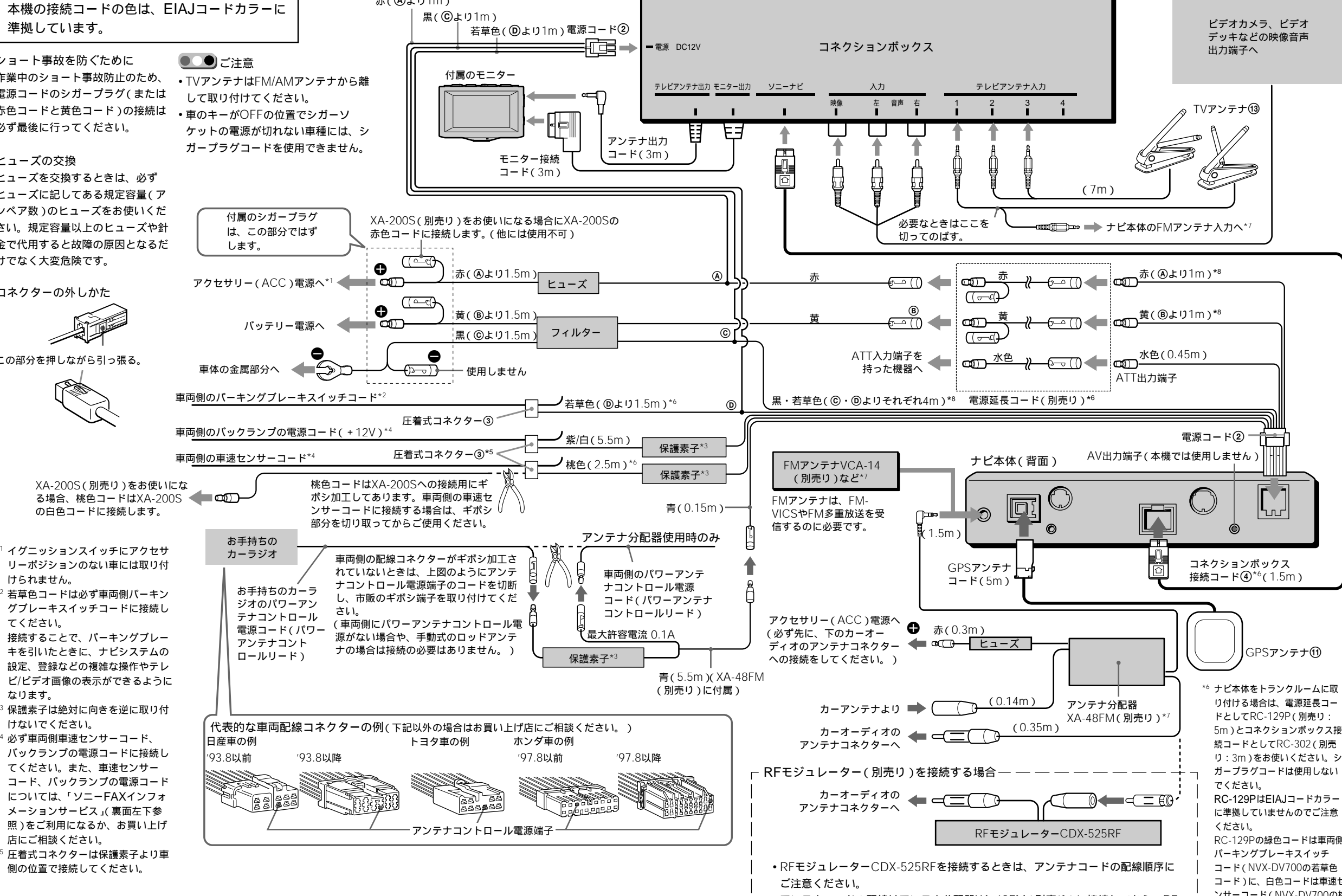
接着面に手を触れたり、貼り直しをするときと接着力が低下しますのでご注意ください。

TVアンテナの使いかた
 アンテナ本体を起こしてから、エレメントAおよびBの各段をいっぴいのはし、エレメントBを内側へ倒します。(取り付け場所によってはアンテナの性能が劣化する場合があります。)



接続図

必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。取り付ける車両のくわしい資料については、「ソニー-FAXインフォメーションサービス」(裏面左下参照)をご利用することもできます。



ナビ機能をよりよく活用するためのコード

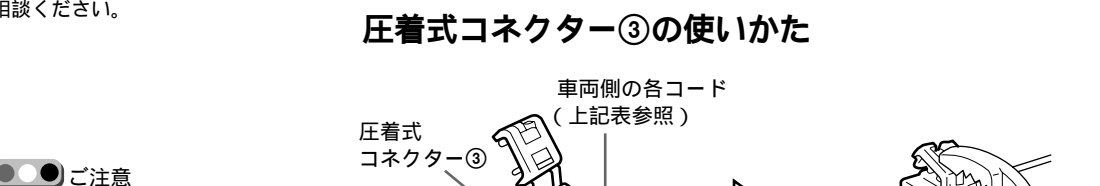
水色コード(ATT出力端子)	ソニー製カーオーディオでATT入力端子のあるセットに接続すると、ナビの音声ガイド時にカーオーディオの音量が自動的に下がります。この機能を使用しない場合、接続する必要はありません。
青色コード(アンテナリモート端子)	XA-48FMなどの別売アンテナ分配器でFM-VICSのアンテナ入力にカーラジオのアンテナを利用する場合に接続します。車両側にパワーアンテナコントロール電源がない場合や手動式のロッドアンテナの場合は、接続する必要はありません。
紫/白コード(バックランプ電源コード接続用)	バックランプ電源コードに接続すると、車両がバックしたときに生じる自車位置の誤差をなくすることができます。
桃色コード(車速センサーコード接続用)	車速センサーコードに接続すると、GPS衛星からの電波が正しく受信できないときでも自律センサーの動きによって正しい自車位置を把握することができます。

各コードの接続について

正確な測位、または安全のため、圧着式コネクタを使用して各コードを接続します。各コードの組み合わせについては、以下の表を参照してください。上欄「接続図」もあわせてご覧ください。(コードの色は、EIAJコードカラーに準拠しています。)

ナビ本体側	車両側
桃色コード	車速センサーコード
紫/白コード	バックランプの電源コード
若草色コード	パーキングブレーキスイッチコード

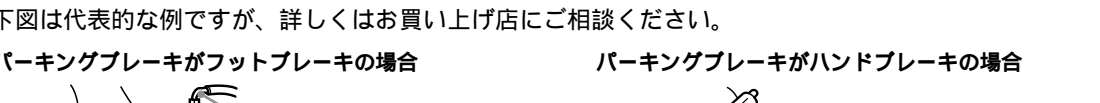
圧着式コネクタ⑨の使いかた



右表にある車両側の各コードの位置は、取り付け車両によって異なりますので、「ソニー-FAXインフォメーションサービス」(裏面左下参照)をご利用になるか、お買い上げ店にご相談ください。

パーキングブレーキスイッチコードの位置について
 パーキングブレーキスイッチコードの位置は車両によって異なります。下図は代表的な例ですが、詳しくはお買い上げ店にご相談ください。

パーキングブレーキがフットブレーキの場合



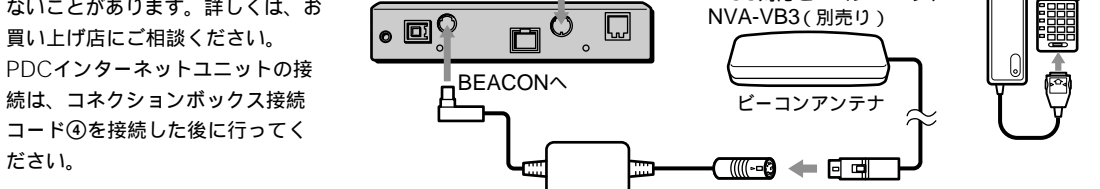
パーキングブレーキがハンドブレーキの場合



ビーコンユニットや携帯電話との接続について

ご注意

- CD/ROMチェンジャーCDX-R61やATISユニットXA-160A/165Aは接続できません。
- 一部のデジタル携帯電話は使用できないことがあります。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。
- PDCインターネットユニットの接続は、コネクションボックス接続コード⑩を接続した後に行ってください。



コードの処理について

取り付けと接続が終わったら、コードは運転の邪魔にならないようにまとめてください。コードがシフトレバーなどからまると、非常に危険です。

